



第10回 南漣会合唱団演奏会

1995. 3. 5 (日) PM1:30  
テイジンホール





—平成6年(1994)5月28日 大阪国際交流センター大ホール—

## ご挨拶

本日は、ようこそご来場くださりまして、まことにありがとうございます。

私たち南澁会合唱団の演奏会が、ここに通算第10回の一つの節目を迎えるに至りました。これもひとえに、母校・大阪市立大学歴代の学長先生、旧制商大以来の恩師・加藤直四郎先生をはじめ、ご関係の皆様ならびに合唱団の母体である南澁会の会員各位から寄せられた温かいご支援、ご指導の賜物と、衷心より厚く御礼申し上げます。とりわけ、本年米寿を迎えられます加藤直四郎先生におかれましては、きわめてお元気に幾つかの合唱団を指導しておられるお忙しいさなか、ご無理をお願いして、客演指揮をしていただきます。メンバー一同、これにすぐる喜びはありません。

本日のプログラムは、昨年5月の「五つのOB男声合唱の集い」で評価された『ロシア正教会聖歌』の再演。加藤先生の指揮で、ご自身の編曲になるフォスターの名曲と母校を謳った先生作曲の『學園』。オリジナル男声合唱曲として有名な『月光とピエロ』。たまたまどれも、無伴奏の曲となりました。皆様方の心に共鳴する男声合唱特有の響きをお届けすることができれば…と、願っております。

今回もまた、僚友「みおぎ会」の皆さんが華やかなステージ・ドレスに身を包み、松平季子先生の指揮による楽しい歌で、彩りを添えてくださいます。変わらない友情に、感謝申し上げます。

南澁会合唱団は、前回の演奏会以降、好ましい方向に変貌しつつあります。昨年来、やや年配のOB、頼りになる中堅のOBが加入し、また、市大以外の方にも門戸を開き合唱経験豊かな優秀な方々の参加も得て、人数は、文字どおり倍増しました。合唱はもちろん、技術と心のハーモニーが大切な要素であることは言うまでもありませんが、それを支えるのは、何といたっても数の力です。その意味で、本日の演奏会は、これからの充実、発展のステップにしたいものと思っております。

なお、神戸市、西宮市、宝塚市などに在住し、阪神・淡路大震災で罹災した数人のメンバーも、本日のステージに頑張って出演します。

ご来聴、ご声援に深く奉謝し、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成7年3月5日

南澁会合唱団 代表 上田 稔

大阪市立大学長  
山本 研二郎

南澁会合唱団定期演奏会の開催を、心からお祝い申し上げます。

南澁会合唱団は、大阪市立大学創立100周年を契機に再編されましたが、現在、隔年で定期演奏会を開催されておりますほか、毎年ANCORの会による「五つのOB男声合唱の集い」への参加や友好団体への賛助出演など、活発な活動を続けておられます。それぞれにご多忙なか、OB活動に伴うさまざまな困難を克服して精進に励んでおられるメンバーの皆さんはもとより、常々ご指導、ご支援をいただいている皆様方に、敬意を表したいと思っております。

定期演奏会では毎回、高い技量を要する名曲に取り組んでおられ、日頃の研鑽ぶりがうかがえるところですが、選曲にあたっては、幅広い聴衆が楽しめるように工夫をこらしておられます。今回の曲目でも、杉本町の学舎を歌った『學園』などは本学出身者にとって、ひとしお感慨深いものがありましょう。また、市大女声合唱団OGの皆さんの賛助出演を得て、演奏会に一層の華やかさが加わることでしょう。どうか、ご来場の皆様方も一体となって、楽しんでいただきたいと思っております。

最後になりましたが、定期演奏会の開催にあたり、ご協力いただきましたご関係各位並びにご来場いただきました方々に、厚く御礼申し上げますとともに、今年で55周年を迎える南澁会がますます発展されますことを、お祈り申し上げます。

関西合唱連盟  
最高顧問

加藤 直四郎

南澁会合唱団の定期演奏会も、今回で第10回を迎えられることになり、まことにおめでとうございます。10回といえば、一つの区切りでもあり、今までの積み重ねの上に更に大きな実を結ぶことが、大いに期待されます。

南澁会合唱団のこれまでの演奏会では、どちらかと言えば、ポリフォニックな西方教会音楽がより積極的に取り上げられてきたように思いますが、最近では、更に東方正教会のロシア聖歌の分野にもレパートリーを広げられ、スラヴ音楽の良さを紹介されていることは、他には余り例を見ない特色であると思っております。

昨年5月の「五つのOB男声合唱の集い」の時に歌われた、「ロシア正教会聖歌」が非常に立派な演奏であったことが、改めて思い出されます。と同時に、邦人作品の演奏にも意欲的に取り組んでこられ、今回のステージにも、清水脩作曲の『月光とピエロ』が取り上げられていて、その演奏を大いに期待しております。

第10回記念として今回、小生作曲の『學園』が演奏されることになり、その指揮をお受けすることになりました。『學園』は1940年、金子仁作氏の詩に作曲したのですが、若人の漲る希望と学園に対する熱い思いに共感して作曲したことを思い出します。本日、この拙作を歌っていただけることを、まことに光榮に存じます。

メンバーの皆様には、それぞれのステージの練習に精魂を傾けてこれらしましたが、本日の演奏会で、その成果が十分に発揮されますことを、心から祈っております。

アンコールの会  
大阪男声合唱団  
代表

桂 豊

55年の歴史に輝く南澁会が、さきの阪神大震災にもくじけることなく、ここに、第10回の記念すべき定期演奏会を開催されますことを、ANCORの会(アルマ・マータ・クワイア、コール・アカデミー関西OB会、六甲男声合唱団)の皆様とともに、心からお祝い申し上げます。

OB合唱団と言えば、仕事の上で、現役バリバリが大部分を占め、残業や出張で多忙を極めて、練習はいつも歯抜け同然、メンバー全員が揃うのは本番だけという状態は珍しくありません。また、小さいオタマジャクシが線の上やら下やら、楽譜が見にくくて、苦勞する年頃でもあります。合唱が好きなことにかけては、人後に落ちない私どもですが、OB合唱団活動の難しさをひとしお身に沁みて感じているだけに、南澁会合唱団の素晴らしいご活躍に感服し、あらためて敬意を表します。

とくに今回は、合唱界の大御所であり、旧師でもあられる加藤直四郎先生が自作自編を指揮されることも、第10回にふさわしい、意義深いことと存じます。

ご盛会とご成功を、お祈り申し上げます。

# PROGRAMME

## Stage 1. -----

### ロシア正教会聖歌

指揮 小関 光男

1. オッチェ ナッシ (主の祈り) ケドロフ(父) 作曲
2. コーリ スラーベン (シオンの神を讃美す) ボルトニャンスキー 作曲
3. ブラジェン ムーシ (幸いなるかな) ファチュエフ 作曲
4. ムノガヤ レュータ (永遠の命を) ボルトニャンスキー 作曲

## Stage 2. -----

### 「みおぎ会」賛助出演

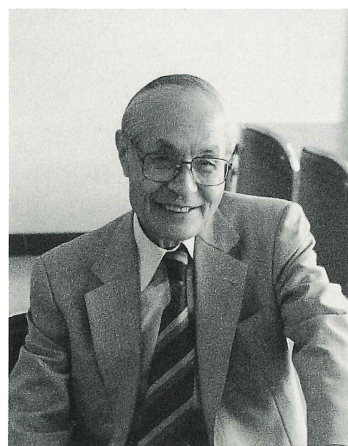
指揮 松平 季子  
ピアノ 岡本佐紀子

1. 宮本良平 作詞・作曲  
合唱組曲 『花によせて』  
(1) もくれん  
(2) あじさいのはな  
(3) リラの花
2. サン・サーンス 作曲 平井ひろみ 編曲  
歌劇 『サンソンとダリラ』より  
我が心 君が声に聞く

||||||||| <INTERMISSION> |||



### 客演指揮 加藤 直四郎



1908年(明治41年) 愛知県豊橋市生まれ。  
1931年(昭和6年) 東京音楽学校(現・東京芸術大学)卒業。  
同年 大阪府立夕陽丘高等女学校(現・高等学校)教諭として、23年間勤務。  
1953年(昭和28年) 大阪学芸大学(現・大阪教育大学)に転勤。助教・教授を経て、21年間勤務。  
(1974年<昭和49年>定年退官)  
1974年(昭和49年) 兵庫女子短期大学に転勤。教授として10年間勤務。  
1975年(昭和50年) 神戸女学院大学非常勤講師を兼任(5年間、合唱を担当)。  
1984年(昭和59年) 兵庫女子短期大学を退職。(なお1年間、非常勤として勤務)

合唱関係：大阪正教会聖歌隊、みのも会、ティート・コール、ティート・ポリフォニック・アンサンブルなどを指導。  
関西合唱連盟 最高顧問。大阪府合唱連盟 名誉会長。

## Stage 3. -----

### 第10回記念ステージ

客演指揮 加藤直四郎

—大阪市立大学グリーンクラブ合同出演—

1. S.C.フォスター 作曲 加藤直四郎 編曲  
フォスター歌曲集より  
(1) Come Where My Love Lies Dreaming (愛する人の眠るところに)  
(2) Massa's In De Cold, Cold Ground (主人は冷たき土の下に)  
(3) Beautiful Dreamer (夢路より)  
(4) Ring, Ring, De Banjo! (バンジョーをかき鳴らせ)
2. 金子仁作 作詞 加藤直四郎 作曲  
まなびや  
學 園 —大阪商科大学に寄す—

## Stage 4. -----

堀口大学 作詞 清水 脩 作曲

男声合唱組曲 『月光とピエロ』 指揮 藤田 徹夫

- (1) 月 夜
- (2) 秋のピエロ
- (3) ピエロ
- (4) ピエロの嘆き
- (5) 月光とピエロとピエレットの唐草模様



### ■南漣会合唱団メンバー <平成7年(1995) 3月>

第1テナー	第2テナー	バリトン	バス
齋藤 三朗	今村 肇	石井 欽三	石川 健夫
新 栄一郎	大田 徳隆	井上 喜光	上木 喜昌
中島 圭意	鎌田 禮章	上田 稔	桂 貞夫
中西 正治	久野 利夫	川口 浩	栗山 功
西山 勳	高島 俊之	高田 和男	小関 光男
藤尾 隆	服部 栄治	谷岡 昇	下伊豆 哲央
細川 光雄	藤田 徹夫	田村 純朗	寺前 芳博
南本 豊樹	松村 和久男	西田 博光	中島 泰典
		松田 桂一郎	増田 太郎
		山内 莊作	宮田 潤
		横田 卓郎	山縣 一晃
		米田 直也	和田 昭夫

# 曲目解説

## ロシア正教会聖歌

ロシアがキリスト教を受容して1000余年。ソ連の崩壊、宗教活動の復活に伴い、正教会典礼、聖歌も、隆盛を取り戻しています。

ア・カペラを最大の特徴とし、男声合唱の原点とも思われるこれらの聖歌の中から比較的ポピュラーな四曲を選び、スラヴ語で歌います。

### 1. オツチェ ナツシ (主の祈り) ケドロフ(父) 作曲 (1871~1940)

キリスト教徒のすべての派において、礼拝の中心とも言える祈りの言葉が歌われています。

天に在ます我等の父や  
願わくば汝の名は聖とせられ 汝の国は来たり  
汝の旨は天に行わるるが如く 地にも行われん  
我が日用の糧を今日我等に与え給え  
我等に負因ある者を我等許す如く  
我等の負因を許し給え  
我等を誘いに導かず  
尚我等を凶悪より救い給え

### 2. コーリ スラーベン (シオンの神を讃美す) ボルトニャンスキー 作曲 (1751~1825)

偉大にして栄光ある大いなる神、シオンの主を讃える歌。

### 3. ブラジェン ムーシ (幸いなるかな) ファチエエフ 作曲 (年代不詳)

晩課の大連禱のあとに吟唱される祈りの歌。その特異な旋律は、ロシア人の心のふるさと・キエフの洞窟大修道院からきたものと伝えられています。

### 4. ムノガヤ レータ (永遠の生命を) ボルトニャンスキー 作曲 (1751~1825)

教会で、共に慶び祝福すべき誕生、入学、結婚、聖堂建立などのとき、全員で唱和する祝歌。(小関)

## フォスターの歌曲

アメリカの作詞・作曲家 スティーヴン・コリンズ・フォスター (FOSTER, Stephen Collins, 1826~1864) は、正式な音楽教育を受けることなく、ほとんど独学であったと伝えられていますが、アメリカの日常生活の中で歌われていた民謡の影響を受けた歌曲などを約200曲、作曲しています。アイルランドやイングランド系の民謡に根ざしたもの(『金髪のジェニー』等)や、ミンストレル

ショウのための黒人の音楽を取り入れたもの(『おおスザンナ』『草競馬』等)など、多くの曲が、わが国でも広く親しまれています。

このフォスターの歌曲の幾つかを、加藤直四郎先生が、ジュピター・コール(戦後、大阪商科大学グリークラブのメンバーが中心となって活躍した男声合唱団)のために編曲されました。その中から四曲、加藤先生の指揮で歌います。

### 1. 愛する人の眠るところへ (1855) 2. 主人は冷たき土の下に (1852) 3. 夢路より (1864) 4. バンジョーをかき鳴らせ (1851)

〔『金髪のジェニー』と『おお、スザンナ』のメロディーが組み込まれて編曲されている。〕

フォスターの生きた時代は、アメリカ独立後50年を経て、南北戦争の直前に当たります。アメリカ大地の香りがする素朴なメロディーと合唱という印象だけで見てきたフォスターの曲が素晴らしく美しいことの再発見をする機会がありました。先日、偶然ラジオからキングス・シンガースが歌う『夢路より』が流れて来ました。思わずハッと、こんなに美しく綺麗な曲だったのかと、しばし茫然となりました。その『夢路より』は、スコットランドの大地に横たわる娘のように思えたのです。ドイツで唄われればドイツの乙女、ロシアで唄われればロシア娘であったりするかも知れません。170年前、アメリカで生まれた『夢路より』は、世界中各地で、それぞれの風景の中の夢みる人になったのです。フォスターの、一瞬の輝きのような短い生涯に残された曲は、時を超えて全世界に根付き、生き、常に新しく人々の心の中に沁みて行ったのではないのでしょうか。(栗山)

### まなびや 學園 一大阪商科大学に寄す一

南澁会の創始者 金子仁作氏(昭16学部卒。平1没)が、戦時中の杉本町学舎とそこに集う学徒の哀歎を詩情豊かに詠まれた詞(次頁に所載)を、加藤直四郎先生に作曲を依頼して、この名曲が出来上がりました。短い青春を惜しむ若人の情感にやや哀愁をただよわせ、城南の母校に大木がとこしえにたたずむ情景が、三つの楽章に分けてドラマティックな曲想に仕上げられています。商大・市大を母校とすることに誇りと感動を呼び起こさ

せる曲と言えるでしょう。昭和15年6月20日「NHK学生音楽の夕べ」の番組で、大阪商科大学グリークラブの出演で放送された記録があります。

このように、年配のグリーメンは常にこの曲を口ずさみ、愛唱したのですが、いつの頃からか何故か、ほとんど歌われなくなったことは寂しいことです。加藤先生ご自身の指揮で、現役グリー諸君を交えて歌う今回のステージを契機として、グリークラブのために作られた伝統あるこの曲を若い人たちにもどんどん歌ってもらい、永く継承されることを切に願いたいものです。(上田)

## 月光とピエロ

この曲は、近代フランス詩をわが国に紹介した詩人堀口大学(1892~1981)のピエロをうたった詩を、清水脩(1911~1986)が集めて男声合唱組曲として作曲し、昭和24年、作曲者が指揮する東京男声合唱団により初演、発表されたものです。第二曲「秋のピエロ」は、その前年、太平洋戦争終結後間もなく開始された第3回「全日本合唱コンクール」の男声合唱の部の応募作品で選ばれ、課題曲に取り上げられました。

敗戦後間もない日本は、食糧難にあえぎ、衣食住を求める人々は、必死になって生きることに直

面していました。ともすれば絶望の想いにかかれながらも、明日への望みにかける人々の想い。ピエロのもつ悲哀は、この時代の人々の心にしみ入るような共感を呼び起こし、詩と曲が重なり合っ

て限りない親しみとなって受け入れられました。作曲者自身が曲の解説で、「深い悩み、遂げられぬ恋、そして耐えがたい絶望。ピエロはそれでも、異様な衣装に身をつつみ、真白く顔をぬりつぶし、こっけいな身振りと笑顔をつくり、舞台上に立たねばならない。ピエロならずとも人間はいつの時代でもこのような悲しい一面を持っているのではなかろうか」と述べているように、この曲はそのような人間の内面的な洞察をうたいあげて

います。現在の私たちの生きざまのなかにも、ピエロに共通するいくつかの感情があり、この曲をうたうとき、しみじみと人間としての悲しみ、諦めの境地を実感させるものがあります。

第一曲、第二曲では、月とピエロの対比によりピエロの持つ哀感の運命をうたい、第三曲では、月とピエロが融合し重なり合っ

學 ま な び や 園	一 大阪商科大学に寄す一 金子 仁作 作詞 加藤直四郎 作曲
東のあけの旗雲は 流れつつ黒すみゆきし あまたたび移るいすれど 緑濃き城南の大樹 常に広野にたたずみであり 懐かしき我等が 城南のまなびや (昭和十五年)	城南の青き広野に 新しき芽生えの一つ おどかに清らけく さやぎつ此処に幾歳月 緑濃き大樹となる 蔭しるき葉かけ求め 集い寄る若き学徒 その瞳望みに燃え 何をか語りはたはまた 何をか想ううなだれて 夢多き短き春を惜しみて哉 その貴きを惜しみて哉

『學園』の歌詞は、金子仁作氏が亡くなられたため、詩の体裁として整えられた記録の所在が定かでない。ここに掲げたものは、伝えられてきた楽譜の音符に付されている仮名書きの歌詞を頼りに、平成2年3月10日、金子先輩を追悼して開催した「第8回南澁会合唱団演奏会」の際、詩の形に書き整え、同演奏会のプログラムに所載したものを再録した。(上田)

# 南澤会合唱団演奏会の記録

回	日 時	会 場	第 1 ス テ ー ジ	第 2 ス テ ー ジ	第 3 ス テ ー ジ	第 4 ス テ ー ジ	第 5 ス テ ー ジ
1	1940. 6. 11 (火) (昭和15) ?	大阪ガスビル ホール	----- ??? < 記録	不備のため 調査中 > ???	-----	-----	-----
2	1964. 1. 18 (土) (昭和39) 19:00	日立サルーン ホール (出演メンバー:32名)	夜鶯/十二人の盗賊(ロシア民謡) Adoramuste Christe (Lasso作曲) Ave Maria (Vittoria作曲) 編:栗山 功	みんなでいっしょに歌いましょう おさななじみ 編:井上喜光 こんにちは赤ちゃん 編:村井真理子 ピアノ:高田和男	寂しき春(蛭野 詩)/河童音頭(柳澤 詩) 上柴 茂 編 Love's Old Sweet Song (J. M. Molly作曲) 貝売り娘(アイルランド民謡・橋本一郎編曲) Aura Lee (イギリス民謡・G. R. Poulton作曲)	機織唄(埼玉県民謡・清水 脩作曲) 五木の子守唄(熊本地方民謡・清水 脩作曲) 最上川舟唄(山形地方民謡・清水 脩作曲) 編:栗山 功	
3	1980. 3. 8 (土) (昭和55) 18:30	北御堂ホール (30名)	ロシア民謡 母なるヴォルガの傍にて/牧場で/晩鐘 /十二人の盗賊/緋色のサラファン/白 樺 編:宮内 泰	男声合唱曲『山に祈る』 清水 脩 編・作 山の歌/リュックサックの歌/山小屋の 夜/山を憶う/吹雪の歌/お母さんごめ んなさい 編:原田佳晃 ピアノ:内田 恵 キーボード:三井洋子	賛助出演:みおぎ会 女声合唱曲『お台所のうた』 高田敏子 編 岩河三郎 編 電気がマ/おとうふやさん/ぞうきんがけ/買ひもの 編:山岸清太郎 ピアノ:高田和男	『マニフィカート』(第4旋法による) パレストリーナ 編 編:小関光男	黒人霊歌 Deep River/This ol' hammer!/Let My People Go/Soon-a will be done 編:栗山 功
4	1982. 3. 13 (土) (昭和57) 18:30	北御堂ホール (31名)	黒人霊歌 Let us break bread together/This ol' hammer!/There is a balm in Gilead/The Battle of Jericho/ Were you there? 編:小関光男	ポピュラー曲集 ラ・クンバルシータ/ジェラシー/ベサ メム・チョコ/雪が降る/ダンシン オールナイト 編:上柴 茂 編:谷岡理恵	賛助出演:大阪すみよし少女少女合唱団 五月の風船/夕ぐれのうた/ひばり/こ き/かりぼし切りうた/そうらん節 編:松前幸子 ピアノ:杉山朱美	おとなとこどもたちの合唱 『春の唄』 喜志邦三 編 内田 元 編 上柴 茂 編 編:松前幸子 ピアノ:杉山朱美	男声合唱曲『水のいのち』 雨/水たまり/川/海/海よ 高野喜久雄 編 高田三郎 編 編:今西弘一 ピアノ:谷岡理恵
5	1984. 2. 18 (土) (昭和59) 18:30	朝日生命 ホール (28名)	ギリシャ正教聖歌 ムノガヤレータ/ワピロン河のほとり/ ゴスポジボミルイ/第29コンチェルト 編:小関光男	愛唱アルバムより ローレイ/別れ/アニー・ローリー/ オレグ公の歌/誰も知らない私の悩み/ 赤とんぼ 編:今西弘一	賛助出演:みおぎ会 女声合唱曲『美しい訣れの朝』 阪田寛夫 編 中田喜直 編 あなたいつも/くちなし/おやすみばくちん/赤い風船 編:松平季子 ピアノ:片桐千歳	合同合唱 混声合唱曲『水のいのち』より 高野喜久雄 編 高田三郎 編 雨/水たまり/川/海よ 編:今西弘一 ピアノ:谷岡理恵	ミュージカル名曲集 『オクラホマ』より 4曲 『南太平洋』より 5曲 O.ハマースタイン二世 作 R. ロジャース 編 編:今西弘一 ピアノ:谷岡理恵
6	1986. 3. 22 (土) (昭和61) 18:00	朝日生命 ホール (28名)	ロシア民謡 白樺/夕の鐘/12人の盗賊/緋色のサラ ファン/行商人/ステンカ・ラージン 編:今西弘一	賛助出演:みおぎ会 女声合唱曲『遙かな歩み』 村上博子 編 高田三郎 編 機械/櫛/花野 編:松平季子 ピアノ:片桐千歳	合同合唱 ホフマンの舟歌/美しく青きドナウ ソプラノ:松平季子 メゾソプラノ:古山淑子 編:今西弘一 ピアノ:谷岡理恵	フランスの詩による男声合唱曲『月下の一群』 堀口大学 編 南 弘明 編 小曲/輪踊り/人の言うことを信じるな /海よ/秋の歌 編:今西弘一 ピアノ:谷岡理恵	ギリシャ正教聖歌 悪人の謀/ゴスポジボミルイ/シオンの 神を賛美す/歌もて我が神の御名を讃め たたえん(第29コンチェルト)/ムノガヤレータ 編:小関光男
7	1988. 3. 19 (土) (昭和63) 18:00	テイジン ホール (29名)	『唱歌の四季』 三善 晃 編 朧月夜/茶摘/紅葉/雪/夕焼小焼 編:上柴 克 ピアノ:谷岡理恵	16世紀のモテット集より 4曲 J. Gallus/Palestrina/Victoria 編 編:小関光男 ----- 《第3ステージ》 ----- シューマン ピアノソナタ第2番 編:谷岡理恵	----- 《第4ステージ》 ----- 賛助出演:みおぎ会 女声合唱曲『朝の市場』より 服部公一 編 朝の市場/子守歌の午後/春の娘 編:松平季子 ピアノ:名倉佐紀子	----- 《第5ステージ》 ----- 合同合唱 海に来れ/ヴァリアの歌 ソプラノ:松平季子 編:今西弘一 ピアノ:名倉佐紀子	----- 《第6ステージ》 ----- 『ジブシーの歌』 J.ブラームス 編 全12曲 ソプラノ:松平季子 編:今西弘一 ピアノ:谷岡理恵
8	1990. 3. 10 (土) (平成 2) 18:00	朝日生命 ホール (26名)	懐かしい日本の名歌 花/荒城の月/浜辺の歌/石臼の歌/雪 のふるまを/ペチカ 編:富増和彦 編:谷岡理恵	賛助出演:みおぎ会 女声合唱曲『あたらしい季節』より 湯山 昭 編 東の風/山桜桃のうた/夏はファンキ イ/砂時計の歌 編:松平季子 ピアノ:名倉佐紀子	きく二先輩に捧げる追悼の歌 『聖チェチリア・荘厳ミサ曲』より F. グー 編 Benedictus/Agnus Dei 大阪市立大学学生歌/学園 ----- (現役グリークラブ合同) ----- 編:今西弘一 編:谷岡理恵	『三声のミサ曲』 W.バード 編 kyrie eleison/Gloria/Sanctus/ Benedictus/Agnus Dei 編:上柴 克	シー・シャンティと黒人霊歌 Senandoah/Sailing, Sailing/Erie Canal/Nobody Knows de Trouble I See/Dry Bones/Let My People Go /Ride The Chariot 編:今西弘一
9	1992. 10. 3 (土) (平成 4) 18:00	近鉄小劇場 (21名)	懐かしのミュージカル名曲集 I Love Paris/The Sound of Music/ Oklahoma/Ol' Man Liver/Do-Le-Mi 編:小関光男	賛助出演:みおぎ会 バイエルによる女声合唱曲集 『クラシックよ、コンニチハ!』より 早野柳三郎 編・編 編:松平季子 編:岡本佐紀子	合同合唱 『聖チェチリア・荘厳ミサ曲』より F. グー 編 Credo (第3曲:クレド) 編:今西弘一 編:岡本佐紀子	『アルト・ラブソディ』 Op. 53 J.ブラームス 編 アルト:福田かおり 編:今西弘一 編:谷岡理恵	男声合唱曲『海鳥の詩』 更科源蔵 編 広瀬量平 編 オロロン鳥/エトピリカ/海鷲/北の海 鳥 編:今西弘一 編:谷岡理恵
10	1995. 3. 5 (日) (平成 7) 13:30	テイジン ホール (40名)	ロシア正教会聖歌 オッチェ ナッシ(主の祈り)/コーリ スラ ーベン(シオンの神を讃美す)/ブラジェン ム ーシ(幸いなるかな)/ムノガヤ レュータ(永遠の 命を) 編:小関光男	賛助出演:みおぎ会 合唱曲『花によせて』 宮本良平 編・編 もくれん/あじさいの花/リラの花 歌劇『サムソンとダリラ』より サン・サーンス 編 平井ひろみ 編 我が心 君の声に聞く 編:松平季子 編:岡本佐紀子	第10回記念ステージ ----- (現役グリークラブ合同) ----- フォスター歌曲集より S. C.フォスター 編 加藤直四郎 編 Come Where My Love Lies Dreaming/Massa's In De Cold, Cold Ground/Beautiful Dreamer/Ring, Ring De Banjo! 『学園』 金子仁作 編 加藤直四郎 編 客編:加藤直四郎	----- 《第4ステージ》 ----- 男声合唱曲『月光とピエロ』 堀口大学 編 清水 脩 編 月夜/秋のピエロ/ピエロ/ピエロの嘆き/月光とピエロと ピエレットの唐草模様 編:藤田徹夫	

# 南漣会・南漣会合唱団

南漣会の設立は、昭和15年(1940)にさかのぼります。この年は、紀元(皇紀)2600年を祝ういろいろな行事があり、大阪商科大学グリークラブでも、これを記念して南漣会の第1回演奏会が、大阪ガスビルホールで開催されました。その中心的・指導的役割を果たされたのが、本日演奏する『學園』を作詞された金子仁作氏で、当初は、現役部員とOBとが定期的に演奏会をもつことを前提にして活動するという趣旨であったと伝えられています。

「南漣会」という名称も、同氏の命名によるもので、言うまでもなく、大阪市の市章である「漣=漣標(みおつくし…通行する船に通やすい深い水脈を知らせるために立てた杭)」からとられたものです。

大阪商科大学グリークラブのOBと現役とが合体して発足した南漣会ですが、戦中・戦後の混乱期であったためか、活動の機会も少なくなり、戦後は主として、OBが物心両面で現役グリーを援助するという形態に変わり、商大・市大グリーのOB組織として定着して、現在に至っています。

南漣会としての活動は、昭和55年(1980)の市大創立100周年の頃までは、昭和39年(1964)に南漣会第2回演奏会が開かれたほか、現役グリーの定期演奏会に南漣会の有志メンバーが合同ステージに立ったり、定例サロンの集まりなどを通じて会員有志の交友によって、男声合唱の灯を保ち続けてきました。

このような経過を経て、昭和55年(1980)に母校が建学100周年を迎えるのを契機に、その前年、南漣会組織の結束を図り、それを母体とする「南漣会合唱団」が再編されました。昭和55年(1980)3月8日、十数年ぶりに演奏会を復活させ、それ以来、継続的に活動を続け、メンバーの熱意と努力により、定期演奏会をほぼ隔年ごとに開催し、第10回を迎えるに至った次第です。

そのほか、定例の行事としては、昭和56年(1981)から毎年開催されている「五つのOB男声合唱の集い」(京都大・大阪市大・東京大・大阪大・神戸大の各大学OBによる「ANCORの会」)をはじめ、その他友好団体のステージへの賛助出演などに参加しています。

大学OB合唱団の悩みはいずれも同じようです。仕事や家庭の事情などにより練習への集まりが悪く、満足できる状態には程遠いものかきさがありました。そうした危機を克服するため、数年前からOB純血主義を排して、男声合唱を愛好する広く一般の方々にも参加を呼びかけ、また、それに呼応して昨年来、昔とった杵柄でOBメンバー増加の兆しが見えはじめてきたことは心強い限りです。ただし、平均年齢の高齢化は否めません。

今回の演奏会を契機として、さらにメンバーの拡充に努め、男声合唱の醍醐味をめざして活動を続けていきたいと願っております。

## 南漣会合唱団 幹事スタッフ

代表	上田 稔
副代表	細川 光雄
総務	石井 欽三
幹事長	桂 貞夫
副幹事長	横田 卓郎
幹事(「ANCORの会」担当)	中島 泰典
会計	新 栄一郎
会計監査	齋藤 三朗
指揮者	藤田 徹夫
	栗山 功
	小関 光男
パートリーダー	
T <sub>1</sub>	南本 豊樹
T <sub>2</sub>	鎌田 禮章
B <sub>1</sub>	谷岡 昇
B <sub>2</sub>	栗山 功
パート運営委員	
T <sub>1</sub>	中島 圭意
T <sub>2</sub>	大田 徳隆
B <sub>1</sub>	横田 卓郎
B <sub>2</sub>	中島 泰典

連絡先 桂 貞夫  
(0729) 98-0538  
横田 卓郎  
(0726) 22-8611

南漣会合唱団次回出演予定  
第15回  
《五つのOB男声合唱の集い》  
本年6月10日(土)  
大阪国際交流センター大ホール  
曲目『月光とピエロ』

## 団員募集

- ♪南漣会合唱団では、活動を一層充実、発展させることを念願して、大阪市大グリーOBのメンバーに限らず、男声合唱を愛好される一般の皆様にも、広く門戸を開放しています。
- ♪一緒に楽しく歌って、素晴らしいハーモニーを味わってみられませんか。
- ♪練習は通常、月2回、日曜日の午後または土曜日の夜に行っています。練習場はおおむね大フィル会館(岸の里)です。♪年齢・経験は問いません。♪ご入団を心から歓迎します。
- ♪お知り合いの団員、または上記「連絡先」まで、お申し出てください。

# みおぎ会

「みおぎ会」というのは、大阪市立大学女声合唱団のOGグループで組織しています。その名称は、南漣会と同じく、大阪市章の「漣標=漣木(みおぎ)」に由来しています。

昭和27年に、市大女声合唱団が誕生して以来、15年間は活動していましたが、昭和42年、部員不足のため現役は消滅してしまいました。しかし、その15年間の絆は、素晴らしい同窓集団「みおぎ会」となって、今日に至っています。

メンバーのほとんどは、仕事を持ちながら若返ることのない、みおぎ会の活動を通じて、人生のロマンと歌のロマンを求めて歌い続けています。

指揮者に、喜歌劇楽友協会のプリマドンナ・松平季子先生をお迎えして、はや13年になります。お心の広く温かい人柄の先生から、厳しいながらも心の通った指導を受けています。また、岡本佐紀子さんという、素晴らしい伴奏者にも恵まれて、練習に励んでいます。

昭和62年11月に第1回、平成4年6月に第2回のリサイタルを開き、また、平成元年には、シンガポールへ念願の海外演奏旅行を実現させました。南漣会会長・中川泰治氏には、その際ご同行いただき、ソロをお願いしたことを、懐かしく思い出し、感謝しております。

南漣会とは、いわば兄妹の関係でご縁が深く、南漣会合唱団のリサイタルには、度々出演させていただき、これがまた、みおぎ会の発表の機会にもなって、そのご好意を嬉しく思っております。

いま、第3回リサイタルに向かって練習を重ねているところです。どうか、皆様方の温かいご支援を賜りますようお願いいたします。

\*\*\*\*\*

## 司会

白石公子さんに、今回も司会の役を、お願いしました。あれこれと注文しなくても、私たちの意図するツボを、的確に心得てくださっていますから、安心してお任せしています。神戸市灘区のご在住で、震災で何かとご不自由のところ、枉げて、お引き受けいただきました。厚く御礼申し上げます。

大阪市立大学 生活科学科社会福祉学科 卒業。  
ラジオ関西アナウンサーを経て、現在フリー。

## 表紙絵

河原碧子先生の、幻想的で、カラフルな美しい表紙絵も、すっかりお馴染みになりました。今回も、素晴らしい絵を提供していただき、南漣会の歴史を刻む貴重な冊子がまた一つ増えました。ご好意に、深く感謝いたします。河原先生も、東灘区のお住居で災難に遭われましたが、ご無事で何よりでした。

大阪市立大学 家政学部住居学科 卒業。  
日本画家。河原デザインスクール 理事長。

\*\*\*\*\*

阪神・淡路大震災で災禍に遭われました皆様のご心痛、ご苦難をお察しし、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早く、正常な生活に復されますよう、お祈りいたします。

受付の義援金箱に、皆様方の温かいご協力をお願いいたします。

## 超耐久性屋根材

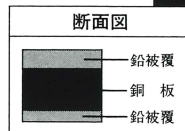
鉛被覆銅板 ※タフ・カバーは銅板に鉛を被覆した屋根材です。

# タフ・カバー

アメリカから今、  
日本上陸!



酸性雨に



タフ・カバ-  
**TOUGH COPPER**  
鉛被覆銅板  
米国工業規格 ASTM B101 建築材料

新登場

輸入総発売元

**山内金属株式会社**

本社 / 〒550 大阪市西区北堀江3丁目8番6号  
TEL (06)532-7001(代) FAX (06)532-7009  
東京出張所 / 〒110 東京都台東区上野公園18番8号G・P・M305  
TEL (03)3823-4858 FAX (03)3823-4586

# ブライトリー・ナイト イン

白いピアノと花いっぱいの  
ロマンチック・ラウンジ  
トレンドイコエコースティック・サウンドで  
今宵も主役は“あなた”です。

ミュージック・ラウンジ **ロココ**  
大阪市中央区西心斎橋2-1-18 ニタヤビル2F

御堂筋 周防町 日生ビル 八幡筋 御津八幡

☎ (06)213-9011・7602

パッケージって、おもしろい。

食品、飲料、化粧品、医薬品……

どんな商品にだって企業からの

メッセージが詰まっている。

鮮度を保つ特殊フィルムや

安全性を高めた容器、

環境問題に配慮した

簡易包装や再生パック……

ほら、見えてきた、見えてきた。

パッケージは、いわば

企業の人柄ってところかな。

消費者ニーズにマッチしてる、

時代の動きにだって敏感。

フジシールは、時代を、

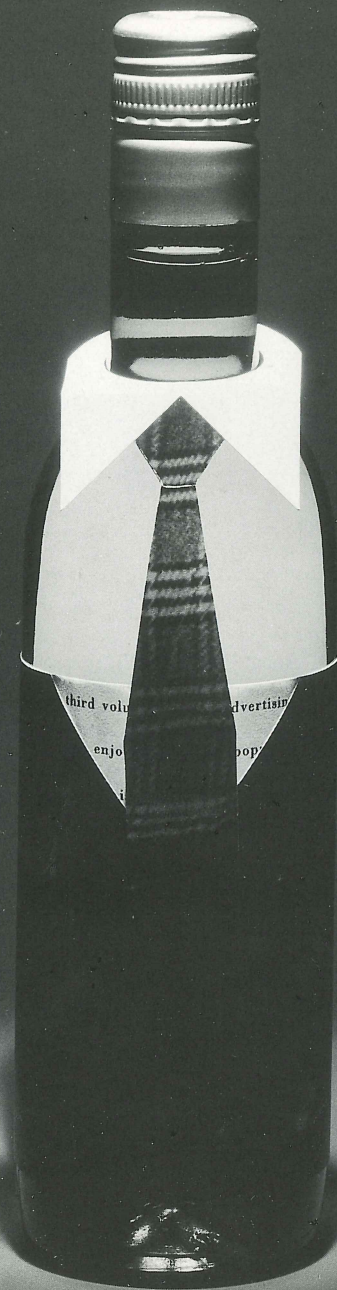
社会を見つめながら、

シュリンク包装をはじめとする

優れた技術やノウハウの

開発を通じて、パッケージングの

可能性を追求しています。



# パッケージング社会学

## Fuji Seal, INC.

株式会社フジシール 代表取締役社長 藤尾隆

〔事業内容〕

●シュリンクキャップシール製造・販売 ●シュリンクラベル製造・販売 ●各種収縮  
包装資材加工・販売 ●タックラベル製造・販売 ●アルミ容器・プラスチック容器  
販売 ●自動ラベラー設計・製作 ●関連機械の設計・制作 ●委託包装加工

(東京本社) 〒103 東京都中央区日本橋本町3丁目11番11号 TEL. (03) 3662-3535(代) [大阪本社] 〒541 大阪市中央区久太郎町3丁目5番26号 TEL. (06) 252-2240(代) (事業所) 支店/東京、大阪 営業所/名古屋、広島、福岡 工場/東京、埼玉、茨城、名張、大阪 [フジシールグループ] (株)フジシール/(株)フジタック/(株)バックフジ/(株)フジ・アステック American Fuji Seal INC./Fuji Seal Europe Ltd./Fuji Seal Germany/Fuji Seal Australia

SINCE 1962

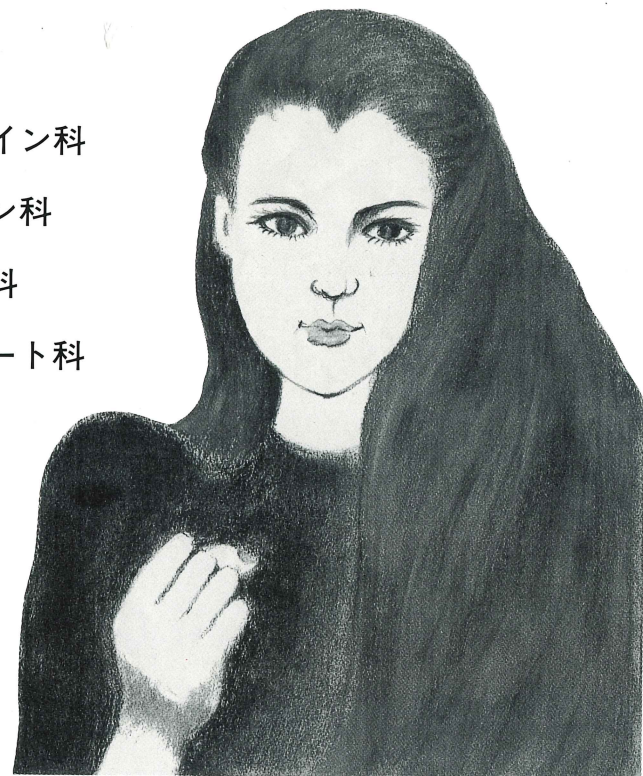
河原デザインスクールでクリアする一つ一つが21世紀の人間のコミュニケーション

若い時が、

どれだけ大切か!!

将来を真剣に考えて、センスや価値観をもって自分を磨こう!!

- グラフィックデザイン科
- インテリアデザイン科
- 彫金工芸デザイン科
- カラーコーディネート科



“1に正確 2にスピード”  
 の精神で、どんな仕事にも  
 役立つ!!

やりたい事は何かを考えるより、とにかく物を作り出し、いろいろな  
 感性と出会えば新しい感動が生まれます。デザインはあらゆる仕事に  
 必要なセンスと技術を磨く世界です。社会に出る前に、貴方の将来を  
 大きく変えるきっかけとなるでしょう。

〔本科(2年制 午前・午後・夜間)／他に1年制専科〕入学随時



プロを育てる名門校

河原デザインスクール

〒530 大阪市北区中之島3-2-4 朝日新聞ビル TEL(06)203-4754(代表)／FAX(06)226-0730

KAWAHARA DESIGN SCHOOL

これが地球です

これだけが

我々人類の日常の生活とその発展を支える唯一の資源です

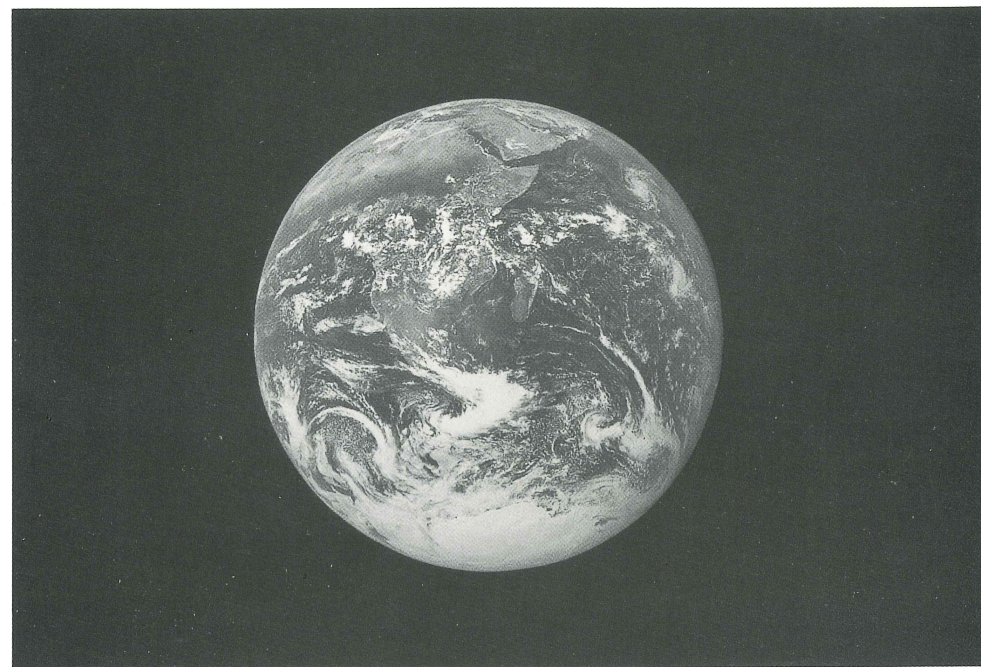
地球を大切にしましょう 資源はムダなくつかいましょう

だからRP東プラは

地球にやさしいプラスチック

リサイクルを考えた製品づくりを

めざしているのです。



The 'Earth'

Our only resource for supporting life and ensuring the future prosperity of mankind.

“Let us be kind to the Earth by not wasting its limited resources”.

Based on this principle, RP TOPLA continually creates:

“Plastics Gentle To The Earth And  
 Products That Can Be Recycled”



アルビ  
 RP東プラ株式会社

本社 〒532 大阪市淀川区宮原4丁目1番4号(新大阪センタービル2F) TEL.06-394-6411(代表)

東京営業所 〒104 東京都中央区八重洲2丁目10番8号(八重洲ビル3F) TEL.03-3274-5851(代表)

大阪営業所 〒532 大阪市淀川区宮原4丁目1番4号(新大阪センタービル1F) TEL.06-394-2611(代表)